

2019/10/03(木)20:29

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
28844	コンピュータプログラミング 1	Computer Programming I	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2019年度 後期	金曜3限	講義および演習	今野 英明
科目ナンバリング			
科目区分	<p>専攻科目 (国際協働グループ) 異なる国や民族・地域・文化・社会をつなぐ国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域政策グループ) 地方行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域環境科学グループ) 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけ、さらに、新たな知識・技能を主体的に学び続けようとする態度、探究力、批判的な思考力などを身につけることを目的とする。</p>		
授業概要	コンピュータ・プログラミングの初学者を対象として、C言語を用いたプログラミングの基礎的内容の講義とUNIX上での演習を行う。		
対応するディプロマ・ポリシー			
到達目標	変数とデータ型、制御構造および関数呼び出しについて理解し、自力でアルゴリズムを考えて短いCプログラムを書けるようになること。よいプログラミング作法を身に付けること。		
授業計画	第1週: 授業内容の紹介とプログラミング環境 第2週: プログラムの作成と実行 第3週: 簡単なCプログラム1(テキストの印字) 第4週: 簡単なCプログラム2(算術計算) 第5週: 制御構造とif選択構造 第6週: if/else 選択構造 第7週: switch多重選択と論理演算子 第8週: while 反復構造 第9週: 算術代入文とfor反復構造 第10週: 入れ子構造とdo/while 反復 第11週: break, continue と構造化プログラミングのまとめ 第12週: データ型(文字,整数と浮動小数点数) 第13週: 浮動小数点数の利用 第14週: 関数の概要と関数呼び出し 第15週: 試験		
成績評価	期末試験の成績(70%)とプログラミング課題の提出状況と内容(30%)により評価する。 ただし、試験結果が合格点に達しない場合には、出席や課題の提出状況にかかわらず、授業は不合格とする。 やむを得ぬ理由がある場合を除き、欠席する毎に評価から減点する。		
教職チェックリスト	学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域(科目)で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域(科目)で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域(科目)の様々な事象に対する関心や意欲を育む。・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。		
テキスト	指定しない。 web上に資料を用意する。		

参考文献	「かんたんC言語」大川内隆朗, 大原竜男 (技術評論社) 「やさしいC」高橋麻奈 (SBクリエイティブ) 「情報処理技術者テキスト プログラミング入門 C 言語」財団法人 日本情報処理開発協会 監修 (実教出版) 「プログラミング言語 C 第2版」B. W. カーニハン, D. M. リッチー 著 (共立出版) 「C 言語プログラミング」H. M. ダイテル, P. J. ダイテル (ピアソンエデュケーション)
関連する授業科目	情報機器の操作
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室 (メール予約があれば随時)
備考 (履修上の注意等)	受講人数の調整を行う可能性があるので事前連絡なしに初回授業を欠席しないこと。 履修にはキーボード入力 (英数字) を不自由なく行えることが必要。 各種資料や演習問題, 連絡事項を http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/827/ に掲載する。
教育実習やインターンシップ等	
実務経験	